

景観まちづくりフォーラムに参加

11月9日（土）に千葉県とNPO法人が主催する“景観まちづくりフォーラム”に参加してきました。この夷隅地域は、いすみ鉄道を中心に人々が暮らし、まちづくりが進められており、私たち大多喜高校もその中の一に入っていると思います。そこで、本校がこれまでにいすみ鉄道と共に取り組んできたことを紹介する機会を与えてくださいました。当日は、駅前の観光本陣に大勢の方々が来場し、いすみ鉄道を支える多くの方々と一緒にお話することができました。今後は、さらに地域の方々との連携を深めて取り組んでいきたいと実感しました。詳細は県のホームページからどうぞご覧ください。

(⇒ <http://www.pref.chiba.lg.jp/kouen/keikanzukuri/seminar-forum/2013/20131109-isumi-forum-kekka.html>)



NHKラジオに生出演!!

12月19日（木）にNHKラジオ第一“ここはふるさと旅するラジオ”の生放送に出演しました。いすみ鉄道支援活動の取組について、生徒会長の岩瀬百葉さん（2B）といすみ鉄道対策委員会の鈴木結衣さん（1A）が、大多喜周辺の自然保護の調査活動について生物部のみなさんがそれぞれ出演しました。



本校のいすみ鉄道支援活動の紹介をする中で、いすみ鉄道の鳥塚社長と“演劇列車”の復活への話題が持ち上がりました。これはかつて演劇部が行っていた活動ですが、今後の進展を期待したいものです。また、中学校時代のいすみ鉄道支援活動を大多喜高校に入学しても継続して行いたい、そんな気持ちで本校に入学したというエピソードも明かされました。生物部のみなさんは、豊かな自然に恵まれた大多喜の現状や害獣による被害など様々な紹介を行いました。

生放送ということもあって緊張した場面もあったと思いますが、本校の紹介を立派に行ってくれました。

〔裏面に続きます。〕

廃線の危機を救え～愛知から取材へ～

3月2日（日）に愛知県の西尾市からお客様がお見えになりました。みなさんは、愛知県の南部を走る名鉄西尾・蒲郡線の応援団の颯田洪さんとケーブルテレビの小林さんです。今回本校を訪問された目的は、いすみ鉄道と同じように名鉄西尾・蒲郡線も赤字路線として廃線の危機にあり、地域の方々による存続のための支援活動の進め方について学ぼうというものでした。その中の一つとして、本校の特色ある活動を知り、取材に来られたというわけです。この沿線にも多くの高等学校があり、様々な支援活動が行われているようです。今回の取材を通して、同じような思いで活動に取り組んでいる高校生たちが多くいることで、今後は連携をしていきたいと考えました。大多喜高校の活動が何かの参考になれば大変うれしいです。さて、この放送は千葉県では見ることはできませんが、放映後に番組録画したものを送っていただけるとのことなので、今年の明善祭で上映したいと考えております。お楽しみにしてください。



◆◆マメ知識◆◆

愛知県には大多喜とのかかわりの深いものがあります。それは、大多喜藩の飛び地があることです。赤穂浪士で有名な吉良上野介の領地が愛知県の旧吉良町です。颯田さんは文化財保護委員も務めていらっしゃるようで、本校にいらっしゃるとうすぐに大多喜の歴史についてふれられました。

今年度の取組から

今年度もみなさんのご協力で、いすみ鉄道支援活動を行うことができました。ありがとうございます。11月に城見ヶ丘駅周辺にまいた菜の花の種は、2月の大雪にも耐えて咲きほころびています。次年度もこれまでの活動を継続しつつ、いろいろな方々と協力をしながら取り組んでいきたいと考えています。また、今年は大多喜町役場の企画財政課のみなさんからたくさんの支援をいただきました。駅清掃のための新しい清掃用具はその一つです。感謝申し上げます。次年度の取組に向けて、何かご意見がありましたらお聞かせください。よろしくお願い致します。

▼城見ヶ丘駅周辺の清掃活動（2月17日）



▼雑誌取材

男の隠れ家3月号（朝日新聞出版）

に本校が紹介されています。



中高生いすみ鉄道存続プロジェクト会議
地元中高の生徒たちが自ら考え鉄道存続を応援する



列車」など、いすみ鉄道にイベント列車なども提案。また、駅清掃をしている大多喜高校の生徒会では、いすみ鉄道のイベント情報などを発信する「いすみ鉄道関連ニュース」をホームページなどで公開している。
<http://www.chiba-c.ed.jp/otakihi/itsunews/Df.html>



昨年、中学生5人が、いすみ鉄道で「アテンダント体験」した。会議の提案で実現。

保護者の方にも御一読していただけたらと思います。